

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月6日

上場会社名 株式会社アイロムグループ 上場取引所 東
 コード番号 2372 URL http://www.iromgroup.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 犬飼 広明 (TEL) 03 (3264) 3148
 経営管理センター担当
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,209	△8.3	33	△88.1	102	△52.6	51	△70.1
2020年3月期第1四半期	2,410	5.3	278	13.8	216	△11.3	171	4.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 190百万円(34.2%) 2020年3月期第1四半期 142百万円(△19.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.32	4.31
2020年3月期第1四半期	14.95	14.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	16,887	7,394	43.6
2020年3月期	15,105	7,167	47.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,364百万円 2020年3月期 7,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	22.7	1,300	7.7	1,300	13.1	1,000	△19.1	84.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	12,282,565株	2020年3月期	12,048,865株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	229,135株	2020年3月期	228,815株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	11,899,605株	2020年3月期1Q	11,483,416株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行により、世界中の人々の健康で安全な生活が脅かされている中、医療業界においては、全世界で新型コロナウイルスに対するワクチンおよび治療薬の開発が待ち望まれており、国内外での研究・開発が急ピッチで進められています。

当社グループにおいても、基盤技術として保有するセンダイウイルスベクターを用いた新型コロナウイルスに対する新規ワクチンの開発を進めており、現在、非臨床試験を実施しています。センダイウイルスベクターを用いたワクチン開発については、これまでに国立感染症研究所や中国の研究機関等と共同で、エイズ（HIV）ワクチンや結核菌ワクチン等の研究開発を進めています。それらの研究開発の成果から、センダイウイルスベクターを用いたワクチンは高い安全性と有効性が期待でき、そのワクチン製造技術は日本やアジアだけでなく世界的に意義深いものであります。

当社グループは、新型コロナウイルスのさらなる感染拡大や第二波・第三波といった将来の再流行を防ぐための重要な手段として、新型コロナウイルスに対する新規ワクチンの開発を最重点課題として位置付けており、引き続き当社グループの総力をあげて開発を推進してまいります。

既存の事業については、当第1四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の流行および緊急事態宣言の発令があったことにより、SMO事業の一部の臨床試験における新規臨床試験の開始時期の延期や実施中試験の新規被験者登録の中断、CRO事業の国内の臨床試験実施施設における臨床試験の延期や中断等の影響が発生しています。

一方で、新規臨床試験の受託が増加しており、また、緊急事態宣言の解除に伴い延期・中断している臨床試験が再開し始めていることから通期の業績予想に変更はありません。

その結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高は2,209百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益は33百万円（前年同四半期比88.1%減）、経常利益は102百万円（前年同四半期比52.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円（前年同四半期比70.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①SMO事業

当セグメントにおきましては、医薬品・医療機器等の臨床試験において多様化する手法に対応するとともに、GCP（医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令）ガイダンスの改正に対応するため、CRC（Clinical Research Coordinator：臨床研究コーディネーター）の教育研修制度や社内認定制度等の充実を継続的に推進しています。また、医薬品開発における疾患領域がアンメット・メディカル・ニーズの高いがんや難治性疾患等にシフトしているため、がんや腎疾患の専門研修を実施し、大学病院や専門医療センター等の基幹病院との提携を広げております。

一部の臨床試験においては、新型コロナウイルス感染症の流行および緊急事態宣言の発令により、開始時期の延期や新規被験者登録の中断が発生しておりますが、一方で、新規臨床試験の受託が増加しており、また、緊急事態宣言の解除に伴い延期・中断している臨床試験が再開し始めています。

なお、売上および営業利益が前年同四半期比で減少しておりますが、これは上記要因に加えて、前年同四半期において腎疾患領域の大型案件による売上計上があったことによるものです。

その結果、売上高は1,259百万円（前年同四半期比25.2%減）、営業利益は409百万円（前年同四半期比45.0%減）となりました。

②CRO事業

当セグメントにおきましては、日本・オーストラリア両国にて保有する臨床試験実施施設において、欧米や日本を含むアジア・オセアニア地域の製薬企業等の早期段階の医薬品開発を支援しています。また、国内において、医師主導治験や臨床研究の支援、企業主導治験のモニタリング等の開発業務の支援を行っています。

海外においては、前期（2020年3月期）に受託した臨床試験が引き続き業績に寄与するとともに、新規臨床試験の受託も増加しており、堅調に推移しています。

国内においては、2019年11月にグループ化した㈱IBERICAの統計解析分野の強みを活かし、アカデミアを中心とした新規臨床試験の受託が増加しています。グループ化という体制の強化により事業環境が整い、さらなる事業の拡大や収益の向上に取り組んでいます。

国内の臨床試験実施施設においては、新型コロナウイルス感染症の流行および緊急事態宣言の発令により、臨床試験の延期や中断が発生しておりますが、緊急事態宣言の解除に伴い順次再開しています。

その結果、売上高は533百万円（前年同四半期比29.1%増）、営業利益は16百万円（前年同四半期は営業損失116百万円）となりました。

③先端医療事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルスに対する新規ワクチンの開発を進めており、現在、非臨床試験を実施しています。虚血肢治療製剤(DVC1-0101)および網膜色素変性治療製剤(DVC1-0401)については、実施中の臨床試験において実施施設の追加を進めており、早期の投与終了を目指しています。

治験国内管理人(ICCC: In-Country Clinical Caretaker)サービスにおいては、新たに便失禁自家細胞移植療法の開発を受託し、日本での治験開始に向けて準備を進めています。保有する臨床用GMPベクター製造施設および併設する細胞培養加工施設において、再生医療等製品製造業の許可を取得し、遺伝子治療製剤や再生医療等製品が上市した際の製造体制を整備したことにより、海外の先端医療開発企業に対し、治験国内管理人サービスに加えて、製造販売承認取得後の受託製造も含めた支援が可能となっています。

また、国内および中国における一般用医薬品や医薬部外品、化粧品等の販売が堅調に推移しています。

一方で、新型コロナウイルスワクチンをはじめとする研究開発をさらに推進するために体制強化を進めており、人件費等が増加しています。

その結果、売上高は211百万円(前年同四半期比126.3%増)、営業損失は52百万円(前年同四半期は営業損失42百万円)となりました。

④メディカルサポート事業

当セグメントにおきましては、開発事業者や不動産会社などと連携して、駅からのアクセスや地域の医療機関の需要など、様々な条件を満たす主に新築の物件を厳選してクリニックモールを開設しています。また、クリニックモールでの開業を検討する医師に対して開業支援を手がけるとともに、開業後の医療機関に臨床試験を紹介するなどその経営を多角的に支援しており、収益は堅調に推移しています。

その結果、売上高は202百万円(前年同四半期比4.8%増)、営業利益は55百万円(前年同四半期比108.0%増)となりました。

⑤その他

当セグメントにおきましては、上記以外の事業等により、売上高は2百万円(前年同四半期は売上高25百万円)、営業損失は22百万円(前年同四半期は営業利益8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末より1,781百万円増加し、16,887百万円となりました。これは、売掛金が減少した一方、有形固定資産が増加したことが主な要因となっております。

負債につきましては、前連結会計年度末より1,553百万円増加し、9,492百万円となりました。これは短期借入金及び長期借入金が増加したことが主な要因となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末より227百万円増加し、7,394百万円となりました。これは、資本金及び資本剰余金が増加したことが主な要因となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,451	3,382
売掛金	2,158	1,681
商品及び製品	215	156
販売用不動産	842	843
仕掛品	516	611
短期貸付金	335	365
その他	473	500
流動資産合計	6,994	7,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,323	2,341
工具、器具及び備品(純額)	169	192
機械装置及び運搬具(純額)	500	473
土地	1,341	1,341
建設仮勘定	269	1,285
有形固定資産合計	4,604	5,634
無形固定資産		
のれん	969	1,003
その他	30	43
無形固定資産合計	1,000	1,047
投資その他の資産		
投資有価証券	759	953
長期貸付金	500	493
差入保証金	822	845
繰延税金資産	302	249
その他	130	130
貸倒引当金	△7	△8
投資その他の資産合計	2,507	2,663
固定資産合計	8,111	9,345
資産合計	15,105	16,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	209	99
短期借入金	1,050	1,500
1年内返済予定の長期借入金	852	834
未払法人税等	91	50
前受金	209	228
賞与引当金	—	76
預り金	168	155
その他	471	511
流動負債合計	3,053	3,456
固定負債		
長期借入金	3,756	4,911
繰延税金負債	17	0
資産除去債務	132	130
長期預り保証金	322	322
退職給付に係る負債	196	195
リース債務	399	373
その他	59	102
固定負債合計	4,885	6,035
負債合計	7,938	9,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,720	3,863
資本剰余金	1,307	1,450
利益剰余金	2,724	2,539
自己株式	△420	△420
株主資本合計	7,332	7,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	69
為替換算調整勘定	△201	△137
その他の包括利益累計額合計	△206	△68
新株予約権	40	28
非支配株主持分	0	1
純資産合計	7,167	7,394
負債純資産合計	15,105	16,887

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,410	2,209
売上原価	1,315	1,365
売上総利益	1,094	844
販売費及び一般管理費		
役員報酬	109	119
給料手当及び賞与	230	250
支払手数料	51	41
その他	424	399
販売費及び一般管理費合計	815	811
営業利益	278	33
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	12	1
持分法による投資利益	—	8
為替差益	—	45
雑収入	10	40
その他	2	2
営業外収益合計	27	106
営業外費用		
支払利息	22	17
雑損失	36	18
その他	31	1
営業外費用合計	90	36
経常利益	216	102
特別利益		
新株予約権戻入益	0	7
その他	0	0
特別利益合計	0	7
特別損失		
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	217	110
法人税、住民税及び事業税	45	44
法人税等調整額	△0	12
法人税等合計	45	57
四半期純利益	171	52
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	171	51
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	73
為替換算調整勘定	△32	64
その他の包括利益合計	△29	138
四半期包括利益	142	190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142	189
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ143百万円増加し、資本金3,863百万円、資本剰余金1,450百万円となっております。